

# 社協だより

## ONAGAWA



## 地域に生まれた新たな交流の場

本会では、これまで行ってきた生活支援体制整備事業協議体や地区座談会等の中であがった地域課題の解決の取り組みの一環として、「コミュニケーション麻雀の集い」を開催しています。

この「コミュニケーション麻雀の集い」が地域に広がり、西区では新たに麻雀を楽しむ取り組みが始まりました。気軽に集まり、会話を楽しみながら交流できる場となっており、1回目よりも2回目と参加者も増えてきました。参加者同士の会話も弾み、初めての方でも参加しやすい雰囲気となっています。

6  
JUNE.2026

この広報誌の発行には、皆様から頂戴した会費と共同募金からの配分金を使わせていただいております。

# 令和8年度事業計画と収支予算の概要

## 《 事業計画の概要 》

全国的な少子高齢化に加え、高齢世帯や単身世帯などの核家族化への進行は、地域により進行のスピードに差はあるものの、地域社会において担い手不足の深刻化や地域の支え合い機能の脆弱化をもたらし、私たちの日常生活の質や豊かさに大きな影響を及ぼしています。また、全国各地で頻発する地震や豪雨による自然災害や、物価高騰による経済の低迷、世界各国で勃発する戦争による国際情勢の悪化など、取り巻く生活環境は不透明な状況であり、我々の生活に影響を及ぼしています。

このような状況から、本会では、「地域」や「人」とのつながりが希薄化したことで生じる孤独や孤立を社会全体の課題として捉え、厳しい生活環境においても、互いに助け合い、支え合える社会の実現に向けた取り組みを進めているところです。

今後も、地域の住民が自主的・主体的に地域と関わり、助け合い、「つながり」を維持しながら、ともに住み慣れた地域で安心した暮らしができるよう「地域づくり」への取り組みが求められています。また、東日本大震災から15年が経過するなか、いつ起こるかかわからない災害に対しても、その教訓や経験を活かして、平時から住民同士のつながりやボランティアを育成し、本会の災害対応の体制整備を進め、充実させていくことが必要であります。

本年は、法人設立40周年の記念の年を迎えます。これまで本会が培ってきた経験を活かし、多様化する地域生活課題の解決に向けて社会福祉協議会の役割を再確認し、「第6次女川町地域福祉活動計画（計画期間：令和7年度から令和11年度）」の基本理念に掲げた、「一人ひとりの幸せに向けて つながり合い 支え合う みんなのまち おながわ」を目指し、ここで暮らす人達が幸せであり続けられるよう、4つの基本目標の達成に向けて引き続き各事業を展開してまいります。

## 本会が掲げる4つの基本目標

- 1 みんなが認め合える・支え合える人づくり
- 2 みんなが参加し、活躍できる場づくり

- 3 みんながつながり安心できる地域づくり
- 4 安定した法人運営

## 《 収支予算 》

収入合計 135,251,000 円	支出合計 135,052,000円
事務局 61,141,000円 ※会費や寄附金・補助金や助成金など	事務局 60,973,000円 ※法人運営やその他各種事業を実施していくための費用
地域包括支援センター 35,706,000円 ※町からの受託金・介護報酬など	地域包括支援センター 35,706,000円 ※地域包括支援センターを運営していくための費用
うみねこ園 28,171,000円 ※町からの障害福祉サービス等事業収入など	うみねこ園 28,171,000円 ※うみねこ園を運営していくための費用
生活支援体制整備事業 7,992,000円 ※町からの受託金	生活支援体制整備事業 7,992,000円 ※生活支援体制整備事業を運営していくための費用
シルバー人材センター 2,241,000円 ※会費・配分金収入など	シルバー人材センター 2,210,000円 ※シルバー人材センターを運営していくための費用

# 職員紹介

令和8年度も職員19名が力を合わせて

地域福祉の推進に努めてまいります。

事務局		女川町地域包括支援センター	
事務局長	伊藤 富士子	管理者兼保健師	鈴木 佳子
事務局长次長	鈴木 康太郎	主任介護支援専門員	島田 圭子
事務局长次長	千葉 信二	介護支援専門員	佐々木 千恵
主事	酒井 陽菜	社会福祉士	隅田 和紀
主事	久保 侑大	女川町地域活動支援センター うみねこ園	
主事	鈴木 楓夏	施設長兼主任指導員	平塚 としえ
主事	文屋 和大	指導員	遠藤 和剛
事務補助員	今野 里美	指導員	木村 美雪
生活支援コーディネーター	住吉 いづみ	指導員 (日中一時支援事業担当)	浜野 恵
生活支援コーディネーター	小野寺 美紀子	指導員 (日中一時支援事業担当)	狩野 裕子



4月から新たな職員が入職いたしましたので、ご紹介します！



事務局 主事

鈴木 楓夏

出身は岩手県ですが、以前に女川町に旅行に来た際に素敵な町だと感じ入職を決めました。これから、女川町の良さに触れ、そして地域のみなさまの声を聞き、より元気で魅力あふれる地域になるよう、誠意を持ち職務に努めます！



事務局 主事

文屋 和大

東松島市出身なので、女川町についてはまだまだ知らないことが多く、地域のみなさまからたくさんお話を伺いながら女川町の魅力を知っていこうと思います。

みなさまどうぞ  
よろしくお願いたします！



## 本会評議員の退任について

これまで、本会の評議員としてご尽力いただきました『櫻井 政徳 氏』が令和8年3月31日付けで退任されましたのでご報告いたします。本会の運営にご尽力賜りありがとうございました。

# ボランティア活動をしてみませんか？

近年、全国で相次ぐ自然災害。その中で「ボランティア」という言葉を耳にすることも多くなりました。

私たちの生活の中で、ボランティア活動は身近なものであり、子供から大人、高齢者まで幅広い年齢層が活動できるのもボランティアの特性でもあります。



## ボランティアとは？

ボランティアという言葉は聞くけど、ボランティアとはどのようなものなのか分からないという方も多いかもしれませんね。

ボランティアには、①義務や強制ではなく、自らの意思で行う活動＝**自発性**、②誰もが幸せに生き活きと暮らしていくための支え合いとなる活動＝**社会性**、③よりよい社会を考え、作っていくための活動＝**創造性**、④お金や物など見返りを求めない活動＝**無償性**の4つの原則があるとされています。

すなわちボランティアとは、自分の意志（自発性）で社会をよくするため（社会性）に自ら考えた活動（創造性）を無償で行うこと（無償性）と言えます。

「ボランティア活動に興味があるけれど、始め方が分からない」、「ボランティア活動をする場とめぐり合う機会がない」などといったことがありましたら、お気軽に下記までご相談ください。

## ボランティア



### 募集中



本会が開設しているボランティアセンターでは、**町内でボランティア活動をしていただける方を随時募集しています。**

活動は、メニューにより時間は異なりますが、長くても40分程度です。

年齢や経験・未経験は問いませんので、ご興味がある方は、お気軽に下記担当者までご相談ください！

**ボランティアの主な活動は**、「ゴミ捨て・庭木の手入れ・草むしり・電球交換・家具の移動・粗大ごみの廃棄・犬の世話・安否確認の声がけ」などがあります。

## 令和8年度 ボランティア入門講座を開催します

「ボランティア活動してみたいけど、何から始めたらいいのかわからない」、「私にもできるボランティア活動ってあるのかな」、「ボランティア活動って何するの？」など、ボランティア活動の基本から学びたい初心者向けの講座です。

この機会に、ボランティア活動の楽しさや自分に合ったボランティア活動を見つけてみませんか？

- ・日 時 **令和8年6月12日（金）午前10時30分から**
- ・場 所 女川町地域福祉センター 会議室  
宮城県牡鹿郡女川町鷺神浜字堀切山107-17
- ・テ ー マ **「ボランティア活動ってなんだろう？」**
- ・対 象 者 ボランティア活動に関心がある方
- ・申込期間 **令和8年6月1日（月）～6月10日（水）**
- ・申込方法 **下記までご連絡ください。**



【ボランティア活動に関する問合せ先】女川町ボランティアセンター（女川町社会福祉協議会内）

TEL：0225-53-4333 メール：post@shakyo-onagawa.or.jp 担当：千葉

※メールでのお問合せの場合には、お名前、行政区、連絡先をご記入ください。

# 生活支援コーディネーターの「いいものみ～つけ！」 NO.43

## 令和8年度 生活支援体制整備事業の取り組みについて

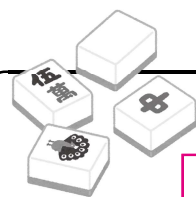
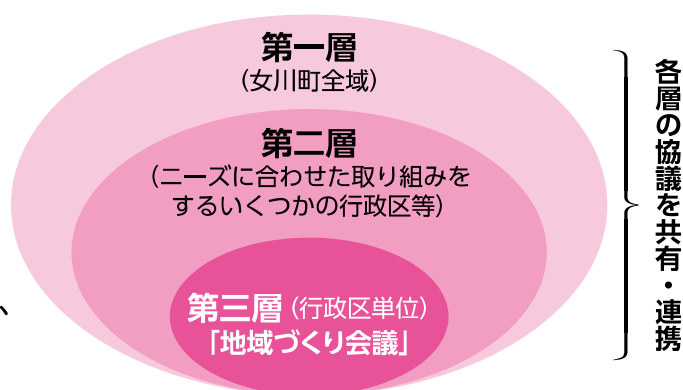
本会では、女川町から平成29年4月より地域の支え合い活動の推進役として生活支援コーディネーター2名を配置し、**生活支援体制整備事業を受託しています**。この**生活支援体制整備事業**は、住民による見守り活動のサポートや、お茶会の立ち上げ支援、コミュニティづくりの支援を行い、住民同士のつながりづくりに重点を置きながら、**住民の皆さんが地域で安心して暮らし続けられるための地域づくりを目指し取り組んでいます**。

また、この事業では第1層から第3層までの階層を位置づけ、各層での協議内容を共有し、連携した取り組みにするための女川町協議体を運営しています。

**第1層協議体**では、女川町全域での多様な事業所の関係者や住民などでつながる新たな取り組みと、住みやすさについて垣根を超えた協議を行い、**第2層協議体**では、ニーズや地域課題に合わせた取り組みを行う、いくつかの行政区等の会議、**第3層協議体**は、行政区単位での地域づくり会議と位置付けています。

令和8年度は、「**地域で支え合う体制づくり**」を協議体のテーマとし、7月と12月に第3層協議体「地域づくり会議」を3行政区で予定しています。10月には、その3つの行政区合同による第2層協議体を、8月と令和9年2月に第1層協議体を予定しています。

女川町協議体の階層図



### 地域ズームアップ

楽しく脳トレ!

～ コミュニケーション麻雀の集いの名称が決定しました!! ～

昨年の6月から始まったコミュニケーション麻雀の集いの名称が、この度、「**ほのぼの麻雀クラブ**」に決定しました。

日時 6月1日(月)・15日(月)、7月6日(月) 13:00～15:30

場所 女川町地域福祉センター 多目的室



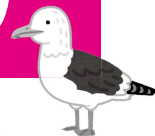
\*性別も地区も関係なくどなたでも参加できます。自分の時間に合わせて途中退席もできますので、お気軽にご参加ください。

**8月に、第1回 ほのぼの麻雀クラブ杯『No.1きめっぺ大会』を開催する予定です!**

【問合せ先】女川町社会福祉協議会 ☎0225-53-4333 生活支援コーディネーターまで



# うみねこ園だより



## 桜も笑顔も満開!

絶好のお天気のもと、今年もボランティアさんとともに日和山へお花見に行ってきました。

日和山では、毎年みんなで桜を見ながらの散歩をするのが恒例行事となっています。ただ、歩くのが苦手な利用者さんも…。ですが、「お団子を買に行くよ!」と声をかけると、先ほどまでの反応が嘘のよう!笑顔で返事をすると、足取りも軽く坂を登って行った利用者さんでした。

他にも、お弁当を食べたりシートの上に横になったりするなど、すっかりとお花見を満喫した1日となりました。最後は、みんなで記念撮影!思い出に残る1枚となったのではないのでしょうか。



「女川町手をつなぐ親の会」の総会の際に、今年も「うみねこカフェ」と称して出席されたみなさんに、コーヒーやお茶などの飲み物を提供しました。前日の練習時には「明日はがんばろう!」と、他の利用者さんに声をかける人もいたなど、気合は十分!でしたが、当日は気持ちが空回りしてしまうところも…。それでも、出席されたみなさんの温かい対応に助けられながら、無事に「うみねこカフェ」を終えることができました。

またのご利用お待ちしております!!



## 生涯学習講座

### 『ちょっぴり 楽しみ 学び かかわり ともに生きる』



4年目となる令和8年度の生涯学習講座がスタートしました。昨年度の活動では、講師である女川町教育委員会の加納純一郎さんの様々なアイデアのもと、簡単なものづくりやレコード観賞・軽運動、生涯学習センターでの映画観賞会を楽しんだ利用者さんたち。12月に開催していただいたクリスマスエレクトーンコンサートも印象的でした。

今年度も、女川駅前に展示される鯉のぼり作りから始まりました。こちら、加納さんのアイデアのもと、昨年度より立派な鯉のぼりが完成!女川の空を元気に泳ぐのが目に浮かぶようです。今後たくさん体験を通じて利用者さんの笑顔を引き出せたらと思っています。

## 温かいご支援 ありがとうございます

女川北区の酒井孝正さんより、20,000円分の図書カードをいただきました。酒井さんには、毎年図書カードをいただいております。今年も「うみねこ図書館」の充実のために使用させていただいております。ありがとうございました。



60歳  
以上の方

# 女川町シルバー人材センター 会員大募集！

女川町社会福祉協議会では、令和7年度からシルバー人材センター事業を行っています。  
シルバー人材センター事業は、長年培った経験や知識、技能を生かし、臨時的な就業を通して地域社会に貢献する事業です。  
ご自身の健康や生きがいの充実を図るためにも是非参加してみませんか。なお、**会員として参加（活動）するには、センターが開催する入会説明会を受講された方に限りますのでご注意ください。**また、シルバー人材センターへの入会は、就職とは異なり、仕事や収入を確約するものではありません。



## 会員資格について

- ①女川町内にお住まいの方
- ②原則として60歳以上の方
- ③健康で働く意欲のある方
- ④センターの趣旨に賛同される方
- ⑤定められた会費を納付した方

## 会費について

年会費：3,000円  
（4月～翌年3月までの1年分）  
※年度途中の入会や途中退会の場合でも年会費は一律3,000円で返金等はありません。

## 入会説明会のご案内

女川町シルバー人材センターでは、令和8年度の入会説明会を行っています。準備の都合上、**下記問合せ先へ必ず予約をお願いします。**

日時	・ 6月～12月は、毎月1回で第1水曜日（ただし、この日が休日等の場合は翌平日の開催） 6月3日（水） 7月1日（水） 8月5日（水） 9月2日（水） 10月7日（水） 11月4日（水） 12月2日（水） ・ 1月～3月は、随時開催 <b>いずれも午後1時30分から（1時間程度）</b>
会場	地域福祉センター会議室（宮城県牡鹿郡女川町鷲神浜字堀切山107-17）

### 入会 の 流れ

**手順1** 初めに、ご連絡をお願いします。

（直接、ご来所いただくか、お電話でもかまいません）

※事業の概要をご説明いたします。入会を希望される場合は入会登録申込書を記入していただき、入会説明会の日程をご案内します。

**手順2** 入会説明会を受講していただきます。

※受講後に入会を希望される場合は、年会費が必要です。また、本センターで準備する就業承諾書等の書類にご記入いただきます。

**手順3** 会員登録となります。

※本会内で会長の承認を得たのちに会員登録が完了します。完了後に会員証を交付します。仕事の提供は会員登録した後になります。

**【問合せ先】 女川町シルバー人材センター（女川町社会福祉協議会内）**

TEL:0225-53-4333 担当：伊藤・千葉・鈴木

寄附金【3月1日～4月30日受付分】

(敬称略)

行政区	氏名	金額
女川町	女川町グラウンド・ゴルフ協会	5,000円
石巻市	国際ソロプチミスト石巻サン・ファン	50,000円
松島町	本村正明	200,000円
三重県	四日市メリノール学院	7,000円

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や小中学校で行う福祉学習、ボランティアセンター事業や生活困窮者への支援などに充当させていただいております。

今後とも、皆様のご理解をよろしく願います。

よりよい地域をつくるための  
社協会員の皆様



社協会員の皆様からいただく会費は、地域福祉の充実に向けた事業を実施するための貴重な財源として大切に活用させていただきます。

特別会員【3月1日～4月30日受付分】

(敬称略)

行政区	氏名
浦宿二	土井賢亮
小乗	阿部求
女川南	木村利彦

行政区	氏名
清水	(有)堂賀設備工業
石巻市	宮本美智

賛助会員【3月1日～4月30日受付分】

(敬称略)

行政区	氏名
大沢	阿部敏彦
浦宿三	桜井宏樹
旭が丘	神橋凜
//	小海途るり
//	鈴木浩徳
//	鈴木やつ子
上 一	小山ゆり子
上 二	朝倉敬悦
//	阿部喜子
上 三	杉山真弓
横浦	木村登志子
女川南	勝又恵子
//	橋本智子

行政区	氏名
大原北	阿部清子
//	平山トキ子
大原南	佐藤えい子
清水	平塚由彦
宮ヶ崎	遠藤孝子
//	齋藤俊美
//	佐藤由理
石浜	遠藤美恵子
桐ヶ崎	鈴木典子
御前浜	東海進
寺間	阿部綱子
江島	平塚恵美

